

経営協議会議事要旨

1. 日時 平成30年11月20日(火) 13:30~14:17
2. 場所 創立50周年記念会館2階 岩木ホール
3. 出席者 佐藤(学長・議長)
青山, 岡井, 小田切, 櫛引, 熊地,
吉澤, 渡邊, 伊藤, 郡, 石川, 福田, 日景の各委員13名
- 欠席者 今井, 島, 永澤, 三國谷の各委員4名
- 陪席者 澁谷監事, 柏倉副学長, 若林副学長, 神本学長特別補佐, 小山副理事,
稲村法人内部監査室長
- 事務部陪席 太田参事役(病院再開発担当)(兼)経営企画課長, 三浦総務部長,
木村財務部長, 金澤学務部長, 沼本施設環境部長,
齋藤研究推進部長(兼)社会連携部長, 川村医学部附属病院事務部長
浅利企画調整役(兼)企画課長, 佐藤総務広報課長, 庄司人事課長,
村市財務企画課長, 齋藤財務管理課長, 渡辺契約課長, 山口教務課長,
宍戸施設企画課長

4. 配付資料

- 資料1 【事前配付】国立大学法人弘前大学学長選考会議規則
- 資料2-1 【事前配付】国立大学法人弘前大学契約職員就業規則の一部改正について
- 資料2-2 【事前配付】国立大学法人弘前大学契約職員就業規則 新旧対照表(案)
- 資料3 【当日配付】平成30年度弘前大学予算実施計画の変更について(案)〈一般会計〉
- 資料4-1 【当日配付】国立大学法人弘前大学契約事務取扱規程の一部改正について(案)
- 資料4-2 【当日配付】国立大学法人弘前大学契約事務取扱規程新旧対照表(案)
- 資料4-3 【当日配付】弘前大学会計機関等の事務及び職位等に関する規程の一部改正について(案)
- 資料4-4 【当日配付】国立大学法人弘前大学会計機関等の事務及び職位等に関する規程新旧対照表(案)
- 資料5-1 【事前配付】組織評価について(概要)
- 資料5-2 【事前配付】平成29事業年度 組織評価の評価結果[確定]
- 資料6-1 【事前配付】平成29事業年度財務諸表の承認について(通知)
- 資料6-2 【事前配付】国立大学法人等における剰余金の翌事業年度への繰越しに係る承認について
- 資料7 【当日配付】平成30年度医学部附属病院の経営状況
- 資料8 【事前配付】平成30年度内部監査結果報告書

- ・ 議事に先立ち議長から, 河田委員退任の報告があった。

5. 議事

- ・ 議長から, 6月4日, 6月19日, 7月12日及び9月11日開催の議事要旨(案)の確認が行われ, 原案のとおり承認された。

○審議事項

審議1 学長選考会議委員の選出について

議長から、資料1に基づき、経営協議会委員の退任に伴う学長選考会議委員の選出について説明があった。国立大学法人弘前大学学長選考会議規則第3条第1項第1号の規定に基づき、経営協議会委員の学外委員の中から1名の学長選考会議委員を選出することについて諮られ、投票の結果、小田切委員が選出された。

審議2 国立大学法人弘前大学契約職員就業規則の一部改正について

渡邊総務担当理事から、資料2-1及び2-2に基づき、国立大学法人弘前大学契約職員就業規則の一部改正について説明があり、審議の結果、原案のとおり了承された。

審議3 平成30年度弘前大学予算実施計画の変更について（案）〈一般会計〉

渡邊総務担当理事から、資料3に基づき、平成30年度弘前大学予算実施計画の変更（案）〈一般会計〉について説明があり、審議の結果、原案のとおり了承された。

審議4 簡易な競争契約の導入（一般競争入札基準額の見直し）について

渡邊総務担当理事から、資料4-1から4-4に基づき、簡易な競争契約の導入（一般競争入札基準額の見直し）について説明があり、審議の結果、原案のとおり了承された。

○報告事項

報告1 平成29事業年度組織評価の評価結果〔確定〕

吉澤企画担当理事から、資料5-1及び5-2に基づき、平成29事業年度組織評価の評価結果〔確定〕について報告があった。

報告2 平成29事業年度財務諸表等の承認について

渡邊総務担当理事から、資料6-1及び6-2に基づき、平成29事業年度財務諸表等の承認について報告があった。

報告3 平成30年度医学部附属病院の経営状況について

福田医学部附属病院長から、資料7に基づき、平成30年度医学部附属病院の経営状況について報告があった。

報告4 平成30年度内部監査（特定監査項目）の結果について

稲村法人内部監査室長から、資料8に基づき、平成30年度内部監査（特定監査項目）の結果について報告があった。

○質疑応答（□：学外委員 ○：学内委員）

1 学生・教職員安否情報確認システムの導入について

- ランニングコストはかかるのか。
- 年間100万円程度のランニングコストがかかる見込みである。
- 安否情報確認システムは、返事をしてこない人がいるので、訓練やメールアドレス変更の管理が重要であると思われる。
- 導入を検討している安否情報確認システムは、教務システムと連動しており毎日同期させるため、メールアドレス変更にも迅速に対応でき、また、LINEにも対応しているため、高い回答率を見込める。しかし100%の回答は困難であるため、残りは手分けして確認する予定である。
- 学生・教職員への周知を徹底する必要があるのではないか。
- 安否情報確認システムを導入した際には、訓練・周知を徹底したい。

2 研究機関における公的研究費の管理・監査のガイドラインについて

- 研究機関における公的研究費の管理・監査のガイドラインは、随時見直しているのか。
- 同ガイドラインは文部科学省が作成しており、随時見直されている。

3 組織評価について

- 評価の指標は、弘前大学独自のものか。
- 評価の指標は、全国的なものもあるが、弘前大学の戦略等を踏まえ、独自に設定している。

以上